

1. 大学名：鹿児島純心女子大学

2. 認証評価実施年度：平成28年度

3. 「改善を要する点」の内容

基準項目：2-1 学生の受入れ

国際人間学部ことばと文化学科について、収容定員充足率が0.7倍未満であるため、定員充足に向けた早急な改善を要する。

4. 改善状況及び結果

基準項目2-1について

(1) ことばと文化学科の定員充足に向けた取組・定員減

・ことばと文化学科においては、平成28年度の収容定員充足率は37.5%であったことから、学生の確保を図るため、ホームページのリニューアルによる魅力的な情報発信、高校訪問（学長等で延べ228校実施）、ガイダンスセミナーへの参加回数の増加、放送メディア等を活用した積極的・効果的な広報等に取り組んだ。

・しかしながら、平成29年度の収容定員充足率は35.0%と改善しなかったことから、平成30年度から入学定員を10人削減し40人としたが、平成30年度の収容定員充足率は30.0%と改善が見られなかった。

(2) 学部改組

・この間、本学では平成28年2月1日に「国際人間学部改革PT」を設置し、学部改組について検討を重ねてきた。この結果、平成30年1月理事会において、平成31年度から国際人間学部（ことばと文化学科、こども学科）の募集を停止し、平成31年4月に新学部・学科として、人間教育学部（教育・心理学科 定員85名）を設置することが決定され、平成30年5月23日に文部科学省へ設置届を提出した。

・文部科学省への届出が受理された、平成30年5月から約半年間、高等学校等の訪問やオープンキャンパスなど新設学部学科単独の説明会やポスター、テレビCM、新幹線、商業施設のビジョン広告など各種媒体での広報活動を重ねるなど、全教職員が一体となって周知活動を展開した。一方新学科の具体的な教育内容や就職進路先の実績を十分示せない状況下で、高校生や進路担当教員に新設学科のイメージを描いてもらえるには材料不足もあり、十分な周知浸透は図れたとはいえなかった。

(3) 改組後の検証と完成年度に向けての改善策

・改組後の平成31年度入試結果、平成31年度の収容定員充足率（初年度につき入学定員充足率）は49.4%となった。志願者数は対28年度比139%と改善の兆しは見えるものの定員の適正規模については再検証が求められる結果となった。

鹿児島純心女子大学

・令和元年5月20日開催された理事会で、監事からの臨時監査報告において、「次年度の学生募集対策に向けた取組を着実に進めること」との指摘を受けたことから、これまでの大学の取組状況や県内の18歳人口の見込み数を基に高校生の進路傾向などの今後の見通しと募集の在り方が論議され、定員規模の適正化については、大学の「学部改組検証委員会」において検討することとされた。

・「学部改組検証委員会」は、5月23日、6月7日に現状分析、検証、評価を行い、次年度の学生募集対策の具体案を取りまとめた。

- ① 現状認識 新設学部学科の将来性への期待や教員養成の実績に高校や行政関係者からの一定の評価はあるものの、新学科の特に心理・文化専攻のイメージが進路担当教員や高校生に十分周知浸透されていない。
- ② 検証・今後の見通し 初年度において、改組前の約1.39倍の受験者が見られたことから、新設学科の周知・浸透とともに、徐々に入学者数の増につながるものと思われる。(県内18歳女子人口は今後2年間横ばい傾向)
- ③ 対応策 姉妹校・地元校との学生・教員の提携・交流、教員のガイダンスへの派遣、留学支援奨学金制度の創設、県外での広報活動など改善策を事業実施計画に追加し、募集活動の強化と実施結果を検証しながら、完成年度の情勢に応じて入学定員の削減も視野に入れて検討を進める。

・今後は、事業実施計画を着実に実施し、特に新学部・学科の県内外の高校等への周知広報に努め、完成年度における新学科収容定員の充足達成に向け、引き続き改善策の検証を継続して行う。

5. エビデンス (根拠資料) 一覧

基準項目2-1の資料

- 【2-1-01】 入学定員、収容定員充足率の推移
- 【2-1-02】 平成29年度事業報告書(13P抜粋)
- 【2-1-03】 理事会議事録29・6・21(収容定員変更)
- 【2-1-04】 理事会説明資料30・1・22(学部改組)
- 【2-1-05】 学部設置届出基本計画書抜粋
- 【2-1-06】 平成30年度事業報告書(6~7P, 11~12P抜粋)
- 【2-1-07】 入試状況(H28~H31)
- 【2-1-08】 理事会議事録元・5・20(学部改組後検証)
- 【2-1-09】 改組検証委員会設置要綱
- 【2-1-10】 検証委員会まとめ
- 【2-1-11】 大学事業実施計画追加修正個所の抜粋
- 【2-1-12】 鹿児島県児童生徒数女子の推移
- 【2-1-13】 新設学部学科紹介パンフレット